



上尾ロータリークラブ

2012-13年度テーマ
奉仕を通じて平和を



島村 健会長

第2467回 例会 会長あいさつ

2012.11.15

週報 No. 1940

発行 2012年11月29日

会長 島村 健

幹事 齋藤 博重

副会長 関口 和夫

副幹事 齋藤 哲雄

編集責任者・

クラブ広報委員長 横山 泰史

ゲスト

米山記念奨学生

周 京梅さん

行事予定

12月6日 卓話

12月13日 理事会

結婚・誕生祝い

12月20日 年次総会

(時間変更)

12月27日 定款の規定により休会

皆さんこんにちは。今日は、新会員の長沼さんに卓話をいただきま

す。また、19時からは、長沼さんの歓迎会がございますのでよろしく

お願いいたします。

先週は、周さんの卒論に必要ということで、アンケートのご協力をお

願いいただきました。敬語についてで思い出しましたが、4年前の米

山奨学生の河正一さん敬語について勉強していました。卓話の時に

紹介された本が「バカ丁寧化する日本語」でした。すぐ買って読んだ

のですが、忘れていたもので読み直してみました。

「『させていただく』という言葉に象徴されるように、現在、日本語

の丁寧化という波が押し寄せている。丁寧化はなぜ進んだのか。時代

や社会の動きとともに変化する日本語は、これからどう変化するのか

。日本語教師として、外国人の日本語学習者に、日本の大学生に日々

接する著者が、敬語を中心とした“おかしな日本語”に着目し、日本語

の本来の使い方、そして私たちのコミュニケーションのあり方を考え

させられる本です。

この本で一番はじめに紹介されているのが「させていただく」につ

いて、「お送りさせていただきます」という文章、よく見ますよね。

なぜこの一見丁寧に見える言葉が無礼に使用されることがあるのか説

明しているのははじめの一章なのですが、それは「させていただく」

を自分で決定した言葉に使用しているからなのだそうです。本来「さ

せていただく」は相手の決定や希望に対して、自分がすることに對し

て使用する良い言葉。自分の決定してすることに、「させていただ

く」を使用すると押し付けがましい印象を与えてしまうことがあるの

で「いたします」を使用したほうが良いそうです。私は「作業依頼を

送信させていただきます」と読んですぐ変だとは思わないのですが本

当は「作業依頼を送信いたします」と書くのがよいですね。他にも

本に書かれていることですが、会社名にピーウィッシュ〇〇さんとつ

けるのはおかしい。でも社名に〇〇さんと周りが使用しているときに

、自分だけ「さん」を抜くと自分が失礼な言葉遣いをしているように

見えてしまうこともあります。



AGEO ROTARY CLUB

委員長報告

50周年記念実行委員会 記念事業委員会

村岡武仁委員長

先週に引き続きまして

、創立50周年記念事業に

ついでアンケートをお

願いしたいと思います。

先週、ご出席の方にはア

ンケートをご記入いた

き回収させていただきました。

ご欠席の方にはFAX

でお手元にお届けしたいと思います。

本日の例会の中で

お書きいただき帰りにお渡しいただけ

ますと幸いです。

よろしくお願いたします。



村岡武仁委員長

親睦活動委員会 深澤圭司委員長

本日、クリスマス例

会の資料をお配りし

ております。本年度は上

尾ロータリークラブも

50周年という大きな事

業を控えております。

その前に皆様の親睦を図るというこ

とで、親睦活動委員

会では出席率100%例会を企画して

おります。皆様の奮

ってのご参加をお待ちしております。

詳細は資料に記載しておりますので、

ご一読いただけますようよろしくお願

いたします。



深澤圭司委員長

新世代インターアクト委員会 宇多村海児委員長

10月26日に第2770地

区のインターアクト

委員長会議に出席して

きました。毎年のご

ことで、2013年1月5~10

日まで韓国から訪日

団の受入が始まります。

訪日団受入にあたって、

会員の皆様方には受入

先の立候補をお願い

したいと思います。

本年は上尾高校から

韓国訪問をする学

生が2名います。当

クラブとしては2名

韓国の学生を受入

したいと考えてお

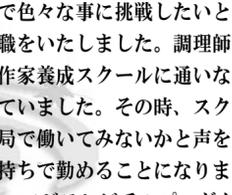
ります。本日はその

2名受入をしていただ

ける会員を募集して

おります。何卒よろ

しくお願いたします。



宇多村海児委員長

ゲスト挨拶

米山記念奨学生 周京梅さん

先ほど島村会長、齋

藤幹事よりお話があ

りましたが、日本語

の敬語についてのア

ンケートを皆様に願

いしております。内

容も少し多いので

すが、是非皆様のご

協力よろしくお願

いたします。先週も

お話しましたが、

中国語には敬語

があるというのは

知っているのです

が、その敬語の

使用する時と場

所などがあまり理

解出来ていません

。お忙しいところ

申しわけありません

が、ご協力のほど

よろしくお願いた

します。



周京梅さん

新入会員卓話

長沼大策会員

みなさん、こんに

ちは新会員の長沼

大策です。本日は

私の自己紹介で

貴重なお時間を

共有させていただきました

身に余る光栄に

存じます。本日は

、初めて自分の

半生をお話する

ということで、

自身を見つめ

なおして内観

させていただ

くいい機会と

なりました。お

聞き苦しい点

もあると思

いますが、

よろしくお願

いたします。

まず、生い

立ちからお

話させていただきます

。私は1967年

(昭和42年)11

月9日に旧浦



長沼大策会員

新宿ワシントンホテル和食調理課で2年間お世話

になりました。辞めた理由としては、私の中で

人生は一度きりなので色々な事に挑戦したい

という気持ちが芽生え退職をいたしました。

調理師を辞めた私はシナリオ作家養成スクールに通

いながら、アルバイトをしていました。その時、

スクールの先生からテレビ局で働いてみないか

と声を掛けられミーハーな気持ちで動

くことになりました。

1989年21歳の時、フジテレビ系のプロダク

ションに就職しました。そこではADとして働

いていました。時代はバブル後半でしたが、

低い賃金、風呂なしの共同住宅で寝るため

に帰り、起きては出勤という生活を2年間

続けました。当時の世界情勢はイラクで

湾岸戦争が起きていて、真夜中に速報が

入りまして深夜の通常番組終了後もカット

インという緊急報道体制で我々のような

ADは局の廊下で雑居寝している状態

でした。大変な労働環境でしたが、有名

なキャスターさんとお話できたのは少し

嬉しい経験でした。ここではとても肉

体的、精神的に鍛えられまして少しの事

では動じないようになりました。そして、

先輩から学んだ格言が「事実と真実は違

う」という格言です。メディアは事実を

報道しますが、しかしながらその裏には

真実が隠されています。加害者と疑

われた人が実は被害者であったり、

また外交や政治でも報道される事

の裏側にこそ真実が隠されています。

テレビマンとして経験を積み報道内容

を咀嚼していくにしたがって、この

仕事への疑問を持ち始め退社するこ

とになりました。テレビ局を退社後、

出版社のアルバイトを始めました。

専門学校の受験問題集を作る

アルバイトの後、1991年にも

出版にアルバイトとして入

りました。ここでは子供向けの

科学雑誌の編集作業のお手

伝いをしていました。

この職場では子どもたちとの

ハガキでのやり取りが楽しく

て時々、編集部に掛かって

くる小学生からの電話はと

ても楽しかったです。1994

年には六月書房という霊園

ガイドを出版している会社

に勤めました。ここでは建

築石材、庭園石材を案内す

る雑誌に携わりました。こ

こでは1年間お世話になり

ました。その後、旧浦和市

にある広告代理店

に就職いたしました。ここで

広告代理業という仕事を

学び、今の私の生業とな

っております。出版社から

広告代理業に移った理由

は、これまでの編集技術

からおもしろいキャッチ

コピーを作る事が、楽し

なからです。上品で一捻

り効かせるコピーという

のは難しく、夜中に考

えたものは、大体翌朝

自分でボツを出します。

しかし名タイトルが浮

かんでクライアントの

役に立ちますととても

満足感が得られます。

この会社には13年間

勤めまして自分の退社

後にあいにく無くな

ってしまいました。

そして2007年39

歳の時に自分の会社

「株式会社B-wish」

を創業いたしました。

会社の名前は英語の

「with best wishes」

という挨拶を短縮した

ものです。意味とし

ては自分が携わった

仕事でクライアント

に多くの幸運がきま

すようにと願いを込

めました。業種を分

類しますと広告代理

業となりますが、名

刺から看板までこな

す何でも屋でございます

。幅広く手がけてお

りますと作業が散漫

になりがちですけれ

ども強みとしまして

は、その看板、印刷

オンリーではない様

々な宣伝方法が仕事

に出来るということ

です。まずはお見積

りとそのクオリティ

を試していただけ

ると幸いです。

話題を少し変えて

私の趣味のお話を